元寇と鎌倉幕府の衰え

モンゴル帝国の広がりは、日本の政治にどのような影響を与えたか



戦いのあとの幕府

元寇（元の襲来）

御家人が九州北部で戦い、
石の防塁を築いて守る

↓

恩賞が十分でない

守っただけの戦いで、
新しい土地を得られない

↓

御家人の生活が苦しくなる

分割相続で領地が小さくなる
借金で土地を手放す者も

↓

徳政令（1297年）

御家人の借金を帳消しにし、
手放した土地を返させる

↓

幕府への不満が高まる

金融が混乱し、
幕府の力が衰えていく

範囲と矢印は模式（実際の国境や航路ではない）。今の国境は描いていない。1333年に鎌倉幕府はほろびる。